

第13期第1四半期業績のご報告 (平成20年7月1日～平成20年9月30日)

平成 20年 12月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当四半期における当社を取り巻く環境は、原油価格の暴騰によるガソリン高にて車の乗り控えが発生し、駐車場業界全体で稼働率が大きく低下致しました。しかし、現在では原油価格の暴落によるガソリン価格の下落に伴い、駐車場の稼働も上昇を続けております。

このような環境の中、当社は、首都圏、関西圏を中心に積極的な営業展開を実施致しました。CPシステム運営事業においてはプロジェクトチームを発足し、専任メンバーによる戦略的分析と多角的対策を講じる体制を構築し、既存CPの稼働率向上に努めました。その結果、売上高 693,018 千円(前年同期比 120.4%)と大きく伸長致しました。

CPシステム販売管理事業においては、パーキングに興味関心を持つオーナー及びパーキング運営事業者に対し、勉強会(東京ビッグサイトにて開催)をはじめとする積極的な営業を実施致しました。しかしながら、先行きの見えないガソリン価格の高騰から、新規のCP開設に慎重になる傾向が顕著となりました。その結果、売上高 431,153 千円(前年同期比 80.1%)となりました。

プロパティマネジメント事業に関しては堅調に推移し、売上高 87,972 千円(前年同期比 88.5%)の結果となりました。

以上の結果、第1四半期の売上高は 1,214,741 千円(前年同期比 99.2%)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	693,018 千円	120.4%
CPシステム販売管理事業	431,153 千円	80.1%
プロパティマネジメント事業	87,972 千円	88.5%
その他	2,584 千円	23.4%

分譲マンション事業では、現在順調に建設工事が進んでおります。

この事業は、国・県・市による補助事業であると共に、3棟とも立地が良く、お客様よりご好評を頂いております。